



2021年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社 PKSHA Technology  
(コード番号 3993 : 東証マザーズ)  
代表者名 代表取締役 上野山 勝也  
問合せ先 取締役経営管理本部長 中田 光哉  
(03-6801-6718)

## 新株式発行に関する資金使途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年11月12日付「新株式発行等に関する資金使途変更のお知らせ」にて公表いたしました、2019年7月に実施した新株式発行（以下、本件「公募増資」）により調達した資金の使途（以下、「資金使途」）を一部変更することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせします。

### 記

#### 1. 変更の理由

当社は、アルゴリズムのラインアップ拡張と研究開発の加速、特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合の取組みに係る研究開発資金、設備投資資金、運転資金及び当社グループ会社への投融資資金、株式会社アイテック買収に係る短期借入金の返済資金、今後の事業規模拡大のための人件費、オフィス増床のための追加敷金及び費用等、並びに広告宣伝費等に充当する目的で、本件公募増資を実施いたしました。

当社が今後取り組む事業の方向性等に変更はありませんが、当社の本日付「株式会社オウケイウェイヴの新設分割会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」及び「株式会社アシリレラの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」においてお知らせした通り、株式会社オウケイウェイヴのソリューション事業（但し、OKBIZ. for Community Support及びOKWAVE GRATICAを除く。）（以下、「オウケイウェイヴのソリューション事業」）の買収及び株式会社アシリレラ（以下、「アシリレラ」）の買収（以下あわせて、「本件買収」）を決議いたしましたので、本件買収資金の一部に充当するため、2020年11月12日付「新株式発行等に関する資金使途変更のお知らせ」にて公表いたしました本件公募増資の資金使途を、再度変更することといたしました。

#### 2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下の通りとなります。変更箇所については下線で示しております。

【変更前の内容】

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 研究開発投資及びソフトウェアの開発投資に係る資金	3,450百万円	2020年9月期～2022年9月期
② サーバー等の増設に係る設備投資資金	<u>5,036百万円</u>	2020年9月期～2022年9月期
③ グループ会社への投融資資金	300百万円	2020年9月期
④ 株式会社アイドラ（現、株式会社アイテック）買収に係る短期借入金の返済資金	1,801百万円	2019年9月期
⑤ 今後の事業規模拡大のためのエンジニア及び外部エンジニアの人件費	700百万円	2020年9月期～2022年9月期
⑥ オフィス増床のための追加敷金及び費用	<u>4,250百万円</u>	<u>2020年9月期～2022年9月期</u>
⑦ 当社サービスの知名度及び認知度向上のための広告宣伝費	800百万円	2020年9月期～2022年9月期
⑧ 協業会社との合弁会社の設立や資本提携などに係る投融資資金	1,864百万円	2021年9月期
⑨ アルゴリズムのラインアップ拡張と研究開発の加速、特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合の取組みに係る運転資金	<u>1,695百万円</u>	<u>2020年9月期～2022年9月期</u>
資金使途合計額	19,896百万円	

【変更後の内容】

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 研究開発投資及びソフトウェアの開発投資に係る資金	3,450百万円	2020年9月期～2022年9月期
② サーバー等の増設に係る設備投資資金	<u>1,139百万円</u>	2020年9月期～2022年9月期
③ グループ会社への投融資資金	300百万円	2020年9月期
④ 株式会社アイドラ（現、株式会社アイテック）買収に係る短期借入金の返済資金	1,801百万円	2019年9月期
⑤ 今後の事業規模拡大のためのエンジニア及び外部エンジニアの人件費	700百万円	2020年9月期～2022年9月期
⑥ オフィス増床のための追加敷金及び費用	<u>228百万円</u>	<u>2020年9月期～2021年9月期</u>
⑦ 当社サービスの知名度及び認知度向上のための広告宣伝費	800百万円	2020年9月期～2022年9月期
⑧ 協業会社との合弁会社の設立や資本提携などに係る投融資資金	1,864百万円	2021年9月期
⑨ アルゴリズムのラインアップ拡張と研究開発の加速、特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合の取組みに係る運転資金	＝	＝
⑩ オウケイウェイヴのソリューション事業の買収資金	<u>5,114百万円</u>	<u>2021年9月期</u>
⑪ アシリレラの買収資金	<u>4,500百万円</u>	<u>2021年9月期</u>

資金使途合計額	19,896百万円
---------	-----------

変更前に計画しておりました②のサーバー等の増設に係る設備投資資金について、725百万円をこれまで充当しております。本件買収により、計画していたサーバー等への新規増設の設備投資の必要性が低下したため、未充当の4,311百万円のうち、3,897百万円を本件買収資金の一部に充当する予定であります。

変更前に計画しておりました⑥のオフィス増床のための追加敷金及び費用について、228百万円をこれまで充当しております。新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、当社ではリモートワークによる業務遂行に移行したことにより、当初計画していたオフィス増床を延期しているため、未充当の4,022百万円の全額を本件買収資金の一部に充当する予定であります。

変更前に計画しておりました⑨のアルゴリズムのラインアップ拡張と研究開発の加速、特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合の取組みに係る運転資金について、未充当の1,695百万円の全額を本件買収資金の一部に充当する予定であります。

上記記載の本件買収資金の一部に充当予定の合計額9,614百万円については、⑩のオウケイウェイヴのソリューション事業の買収資金の一部として5,114百万円、⑪のアシリレラの買収資金として4,500百万円をそれぞれ充当する予定です。なお、本件買収資金のうち、⑩の充当金額を超える部分は銀行借入により賄う予定です。

このほか、変更前に計画しておりました①、③、④、⑤、⑦、⑧の資金使途については、開示の計画通り充当しています。

### 3. 今後の見通し

本件資金使途の変更による当社の2021年9月期業績に与える影響は軽微です。

また、本件買収が当社の業績に与える影響については精査中であり、明らかになった時点で速やかに開示いたします。

以上